

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2290400080		
法人名	医療法人財団 百葉の会		
事業所名	百葉介護センターわかば グループホームわかば1階		
所在地	静岡県伊東市岡1293-3		
自己評価作成日	平成28年10月1日	評価結果市町村受理日	平成29年2月6日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/22/index.php?action=kouhyou_pref_topjigvosyo_index=true">http://www.kaigokensaku.jp/22/index.php?action=kouhyou_pref_topjigvosyo_index=true</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	平成28年10月7日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・DSを始め他部署との連携を強化しており、DSフロアやGHフロアと場所を変え交流の機会を設けている。</li> <li>・また行事委員会を中心とした活動により毎月合同のイベントが企画、開催されている。</li> </ul>
--

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

<p>若い創作力、バイタリティが満ちている事業所です。下支えの一つが併設のデイサービスで、恒例行事であるパワーリハビリ、フラワーアレンジメント、陶芸に参加が出来、またグループホームの利用者がデイサービスのお茶会で亭主役を務めたこともある、といった双方向の交流が日々あります。地元の折り紙講師の来訪では、能力に応じて難易度を設定しての細かい作業がおこなわれ、こちらリハビリテーションと生活の潤いにつながっています。本年初めて取組んだ「認知症カフェ」は町内回覧で流布され、湯茶の接待や、高齢者の相談、認知症に関する演劇をおこない、事業所のパワーを外部に披露する良い機会となりました。</p>
---

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念</b> 2290400080					
1	(1)	○理念の共有と実践 百葉介護センターわかば グループホームわかば1階	全職員が各委員会の委員となり理念に基づき活動を行っている。 実践につなげる努力をしている。	2年任期での委員会活動のほか、法人目標、グループホーム目標、個人目標を以て理念が現場に落とし込まれています。理念は玄関に掲示し、委員会活動を通じて実践的な浸透が図られているものの、「暗唱できるか」というと唱和やテストをおこなっていないこともあり不確かです。	新しく入る職員への指導とともに、全職員の浸透への標準化を期待します。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している	祭りや防災訓練等地域の方々利用者、職員参加し合い交流をしている。	地域の祭典では、事業所で作った花飾りが小道具として使われ、また見物には付き添ってもらえたりと、密着した関わりがあります。雨天ということもあり途中で車での参加でしたが、長年念願だった「職員と一緒に利用者が地域防災に参加する」ことが本年叶っています。	夏休みには中学生の職場体験を受入れ、クリスマスには幼稚園との交流が続いていますので、さらなる前進として小学生児童らとの接点ができるよう期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	8/21(日)地域に向けて認知症カフェを開催した。 今後も継続にて予定をしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会長や民生委員、ご家族の方々に参加され、意見交換をしている。	現任町内会長のみならず前任者も同席くださり、地域の困りごとなどを多様な視点で話し合える貴重な場となっています。最近の議題として「不審者への防犯対策」が挙げられ、当事業所においても女性職員が多いことから、「どうやって外部に知らせるか」等方法が提示されています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	所長が中心となり行っている	運営推進会議には、平日とはいえ夕方開始にも関わらず市役所、地域包括支援センター職員が参加くださり、助けられています。事業所でも所長を中心として、受入れの空き状況は細目に伝え、また月数回は窓口に出向き、電話でも連絡をとりあい事業所の現況を報告しています。	認知症カフェについて、行政においても理解され何らかの関わりが進むことを期待します。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間帯は防犯上施錠しているが日中は解放、各部署とも連携をし取り組んでいる。	身体拘束ゼロ宣言の下、年に1~2回勉強会をおこない、新入職員もスタート段階で本件に係る教育の機会が設けられています。精神科へ受診している利用者も数名いますが、様子に不審な点があれば主治医に相談し、服薬により行動を制限するようなことは回避しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の勉強会を実施。 ヒヤリハット、事故報告書の活用やケースカンファレンスを行っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会はなかった。 2階には保佐人を付けている利用者がいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に所長が行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	アンケートの実施や面会時に直接伺っている。 各会議で取り上げ運営に反映させている。	面会には新人職員がお茶を出して「顔を覚えてもらおう」よう努力し、「食事について知りたい」との声には、毎月発行の「わかばだより」にその様子を写真掲載しています。また認知症カフェには「家族参加を増やしたい」として時間帯を工夫しましたが、結果にはつながりませんでした。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	所長が中心となって面談や会議帯にて意見交換を行っている。	本年度から委員会活動が1つ増えて全部で5つとなり、どの職員も所属しており、フロア会議や全体会議で、各委員長が進捗状況を報告して「皆での運営」につなげています。上期、下期での個人面談では目標の達成状況を確認するとともに、運営に関する提案も広く受け付けています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	所長が個々との面談を行い改善の必要な事を行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	所長と運営会議出席メンバーが中心となり個々の力量に合った研修の参加者を決め参加してもらい研修参加者は会議帯にて報告し周知を行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内での他施設との関わりがあるのみです。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面談時に実施している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面談時に実施している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	医療機関や役所と連携し行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	信頼関係を築く様にコミュニケーションを取っている。 落ち着いた話して頂く様マンツーマンで行う事もある。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時は、近況報告、情報収集し思いの共有に努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会者との時間を十分に確保し外出支援に努める。	開所以来取り寄せる地元新聞では親しんだ活字に触れることができ、また併設デイサービスも " 知った場所、"として確立しています。家族が訪れて戸外へと連れ出してくれ、馴染みの床屋に通う人がいたり、孫の家に3泊したり、正月には家族とおせち料理を囲む利用者もいます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	本人やご家族の意向を踏まえ個人の生活ペースに沿った交流が出来る様に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	所長を中心に行っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中の会話で希望等を聞く様にしている。 カンファレンスに参加して頂いている。	平均介護度は3で、普段の会話や介護計画書の更新で意向を取れる人もいます。ハッキリと意思を伝達できる2名の利用者とは広告チラシを見て食べたいものを聞くこともあります。筋力の維持や安全管理への要望が家族からも届いていて、都度協議して応えるよう努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族等からの情報収集に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別の記録に詳細に記入出来る様に現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族、関係者が一同に揃う事は少ない、本人、家族の意向を踏まえ現状に即した介護計画を作成出来る様にカンファレンスを行っている。	居室担当が掴んだ生活状況を計画作成担当者へ伝えての課題把握が成され、原案を作成しています。計画書をはじめとした各帳票は昨年からのSO9001に準拠して整備され、精度があがっています。また援助目標は日々の介護記録と連動させ、達成状況の記録も確かです。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護記録、申し送りノート、口頭で情報共有を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	DS、GHお互いに利用出来る様にしている。 他部署との連携も出来て部署を越えての支援に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の祭りのお花作りや防災訓練を一緒に行っている。 ボランティアによる慰問やフラワーアレンジメント等の体験学習にて楽しみがある。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診の他それぞれの病状により各医療機関を利用している。	車で10分程の距離に在る協力医院とは24時間の電話連携があります。数名が従来のかかりつけ医を主治医としており、協力医以外の外来受診は家族同行、もしくは家族負担による介護タクシーとしています。本年は訪問看護と契約を交わし、さらに医療体制を整えています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師の出勤日は毎回報告を行い休日の対応も相談している。 訪看との連携も取れており記録にて周知されている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	所長と看護師が中心となり行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取り指針についてご家族に説明、同意して頂いている。 ターミナルについての勉強会も実施している。	入居契約では「終末期の指針」を提示し説明したうえで意向確認をおこない、実際直面した時には主治医と家族、代表職員を集めて改めて合意形成しています。過去1例の看取り経験がありますが、昨年意向調査をおこない、大半の利用者家族が希望していることを確認しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを備えてあり勉強会も行われたが定期的には実施していないため実践力は十分とは言えない。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回防災訓練、運営推進会議で対策は検討している。 災害時の対応が十分に身につけているとは言えない。	昨年の外部評価での提案を受け、大型冷蔵庫に転倒防止のストッパーを設置し、また消防署の協力の下、何年かぶりに水消火器の訓練を開催しています。休日の職員も含めて全職員が参加し、特に新入社員は警報や器具の使い方に慣れる機会となり、収穫を得ています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様の生活歴、性格を把握し個々に合わせた対応を行う様に努めている。	接遇研修は年1回程度、外部研修を習得した職員が内部で学びを発表するほか、今年神奈川県で起きた事件については重く受けとめ、防犯や接遇について見直しに取組みました。また新人にはOJTノートが与えられ、接遇が早期に標準化できる仕組みもあります。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の会話の中から思いや希望を伺い取り入れるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事時間や入浴日は決まっているが、個々のペースや心身の状態により柔軟に対応するように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分で選択出来る方は選らんで頂いたりアドバイスをしている、選べない方にもなるべく伺いながら添えるようにしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みについては、アンケートを取っている、出来る物は用意したり外食を行っている食事は毎食一緒に摂っている、調理の下準備や食器拭きをして頂いている。	平日の昼食はデイサービスで調理した食事が提供され、「ちょっと凝った」献立に舌鼓を打っています。米は各ユニットで炊飯していますが、特に2階ではガス釜なので火力が強く、ふっくらと炊きあがるのが自慢です。職員も同じメニューで食卓を囲み、和やかな雰囲気が流れています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に合わせて食事形態にして用意。心身の状態に応じた支援を行っている、食事時以外にもこまめに水分を摂って頂き好みの物を提供出来る様努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々に合わせて口腔ケア義歯管理をしている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定期的なトイレ誘導、トイレ間隔の開いている方への促しを行っているが個々の排泄パターンの把握、清潔保持等の課題がある。	排泄チェック表での状態把握によって必要に応じた声掛けがおこなわれ、自立の継続につながっています。頻繁な掃除、消毒が実施されており、結果尿臭も全くなく、気持ちよく利用できる環境が保たれています。また夜間は利用者の状態に合わせ、画一的な対応は見られません。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘薬調整と共に毎日の体操実施、十分な水分量の提供に取り組んでいる。起床時牛乳や冷水対応にて効果ある方もいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日は決まっているが、個々の心身状態に応じて柔軟に対応するよう努めている。	週3回をめやすとして入浴する浴室は広く、介助には十分なスペースがあります。ただし、浴槽が深いため足腰の弱ってきた利用者の状態を鑑み、踏み台を沈めて使用しています。1階ではシリコンシールで雰囲気盛り上げ、2階では造花を飾り、入浴を楽しめるよう工夫があります。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中も状態の観察を行い本人希望や促しにて休息を取って頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別の薬情報がファイルされており、直ぐに確認出来る様になっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割として得意分野を活かした支援や本人の趣味、状態による支援を行っているが全員の方にまでは至っていない。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族と協力し行っている。施設としても行事委員会を中心に外出支援を行っているが日常的とは言えない。	回転寿司も含め昨年より外出が増えており、最近ではイルミネーション見学をおこなっています。家族も誘ったところ、ほとんどの家族が参加してくれ、楽しいひと時を過ごしています。薔薇を見事に育てている近所のお宅で、何回かに分かれて訪問して鑑賞させてもらうこともあります。	(近場でよいので)月1回程度の定期外出が叶うことで地域や自然と身近にふれあえることを期待します。



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	実際にお金を使う機会は不安に思っている時は小遣い帳等を見て頂き説明する、本人の希望される物は購入している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をつないだり相手が話の理解が出来る様に取り次ぎを行っている、手紙に必要な物や投函を行い不便さを感じさせないようにしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせて飾りを作って頂いている、移動線状に物が無いように努めている。	工作した季節作品が一年を通じてその都度飾られる一方で、レクリエーション材を収納する棚はカーテンで目隠される気配りもあり、また「汚物をすぐに外に出すように心がけている」臭いのない環境で、清々しい印象です。また愛くるしいぬいぐるみや家族から届く生花にも休まります。	1階では切れた照明箇所があり、そこだけは暗い印象がありました。また、2階通路に洗濯物干し等の器具が並んでいてリスク面で気がかりです。あらためて安心、安全を見直すことを期待します。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロア居室を自由に行き来されている、き共同で作業が出来気のあった利用者同士で過ごせる場がある。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時より本人の馴染みの物をお持ち頂くように支援している、手作り作品等居室に飾れる様にしている。	ミラー付洗面台が各居室に備わり、ほぼ全ての利用者が歯磨き、洗顔に使っていて、生活の基礎的な行動につながっています。他にも自宅での生活を反映している例として、家族の希望もあって半数以上の居室にテレビが持ち込まれています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	他部署と連携し声かけが出来る様に努めている。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2290400080		
法人名	医療法人財団 百葉の会		
事業所名	百葉介護センターわかば グループホームわかば1階		
所在地	静岡県伊東市岡1293-3		
自己評価作成日	平成28年10月1日	評価結果市町村受理日	平成29年2月6日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kajigokensaku.jp/22/index.php?action=kouhyou_pref_topjigvosyo_index=true">http://www.kajigokensaku.jp/22/index.php?action=kouhyou_pref_topjigvosyo_index=true</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	平成28年10月7日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

DSとの連携を強化しており、毎日GHの入居者がDSでの体操やレクリエーションに参加したり、毎月合同のイベントが企画されおこなわれている。
--

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

若い創作力、バイタリティが満ちている事業所です。下支えの一つが併設のデイサービスで、恒例行事であるパワーリハビリ、フラワーアレンジメント、陶芸に参加が出来、またグループホームの利用者がデイサービスのお茶会で亭主役を務めたこともある、といった双方向の交流が日々あります。地元の折り紙講師の来訪では、能力に応じて難易度を設定しての細かい作業がおこなわれ、こちらリハビリテーションと生活の潤いにつながっています。本年初めて取組んだ「認知症カフェ」は町内回覧で流布され、湯茶の接待や、高齢者の相談、認知症に関する演劇をおこない、事業所のパワーを外部に披露する良い機会となりました。
--

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地域の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念</b> 2290400080					
1	(1)	○理念の共有と実践 百葉介護センターわかば グループホームわかば1階	全職員が各委員会の委員となり理念に基づき活動を行っている。 実践につなげる努力をしている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している	祭りや防災訓練等地域の方々利用者、職員参加し合い交流をしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	8/21(日)地域に向けて認知症カフェを開催した。 今後も継続にて予定をしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会長や民生委員、ご家族の方々が参加され、意見交換をしている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	所長が中心となり行っている		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間帯は防犯上施錠しているが日中は解放、各部署とも連携をし取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の勉強会を実施。 ヒヤリハット、事故報告書の活用やケースカンファレンスを行っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会はなかった。 2階には保佐人を付けている利用者がいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に所長が行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	アンケートの実施や面会時に直接伺っている。 各会議で取り上げ運営に反映させている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	所長が中心となって面談や会議帯にて意見交換を行っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	所長が個々との面談を行い改善の必要な事を行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	所長と運営会議出席メンバーが中心となり個々の力量に合った研修の参加者を決め参加してもらい研修参加者は会議帯にて報告し周知を行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内での他施設との関わりがあるのみです。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面談時に実施している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面談時に実施している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	医療機関や役所と連携し行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	信頼関係を築く様にコミュニケーションを取っている。 落ち着いた話して頂く様マンツーマンで行う事もある。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時は、近況報告、情報収集し思いの共有に努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会者との時間を十分に確保し外出支援に努める。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	本人やご家族の意向を踏まえ個人の生活ペースに沿った交流が出来る様に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	所長を中心に行っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中の会話で希望等を聞く様にしている。 カンファレンスに参加して頂いている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族等からの情報収集に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別の記録に詳細に記入出来る様に現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族、関係者が一同に揃う事は少ない、本人、家族の意向を踏まえ現状に即した介護計画を作成出来る様にカンファレンスを行っている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護記録、申し送りノート、口頭で情報共有を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	DS、GHお互いに利用出来る様にしている。 他部署との連携も出来て部署を越えての支援に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の祭りのお花作りや防災訓練を一緒に行っている。 ボランティアによる慰問やフラワーアレンジメント等の体験学習にて楽しみがある。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診の他それぞれの病状により各医療機関を利用している。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師の出勤日は毎回報告を行い休日の対応も相談している。 訪看との連携も取れており記録にて周知されている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	所長と看護師が中心となり行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取り指針についてご家族に説明、同意して頂いている。 ターミナルについての勉強会も実施している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを備えてあり勉強会も行われたが定期的には実施していないため実践力は十分とは言えない。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回防災訓練、運営推進会議で対策は検討している。 災害時の対応が十分に身につけているとは言えない。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様の生活歴、性格を把握し個々に合わせた対応を行う様に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の会話の中から思いや希望を伺い取り入れるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事時間や入浴日は決まっているが、個々のペースや心身の状態により柔軟に対応するように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分で選択出来る方は選らんで頂いたりアドバイスをしている、選べない方にもなるべく伺いながら添えるようにしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みについては、アンケートを取っている、出来る物は用意したり外食を行っている食事は毎食一緒に摂っている、調理の下準備や食器拭きをして頂いている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に合わせて食事形態にして用意。心身の状態に応じた支援を行っている、食事時以外にもこまめに水分を摂って頂き好みの物を提供出来る様努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々に合わせて口腔ケア義歯管理をしている。		



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定期的なトイレ誘導、トイレ間隔の開いている方への促しを行っているが個々の排泄パターンの把握、清潔保持等の課題がある。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘薬調整と共に毎日の体操実施、十分な水分量の提供に取り組んでいる。起床時牛乳や冷水対応にて効果ある方もいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日は決まっているが、個々の心身状態に応じて柔軟に対応するよう努めている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中も状態の観察を行い本人希望や促しにて休息を取って頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別の薬情報がファイルされており、直ぐに確認出来る様になっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割として得意分野を活かした支援や本人の趣味、状態による支援を行っているが全員の方にまでは至っていない。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族と協力し行っている。施設としても行事委員会を中心に外出支援を行っているが日常的とは言えない。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	実際にお金を使う機会は不安に思っている時は小遣い帳等を見て頂き説明する、本人の希望される物は購入している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をつないだり相手が話の理解が出来る様に取り次ぎを行っている、手紙に必要な物や投函を行い不便さを感じさせないようにしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせて飾りを作って頂いている、移動線状に物がないように努めている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロア居室を自由に行き来されている、き共同で作業が出来気のあった利用者同士で過ごせる場がある。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時より本人の馴染みの物をお持ち頂くように支援している、手作り作品等居室に飾れる様にしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	他部署と連携し声かけが出来る様に努めている。		